

第1回ワークショップ実施報告書

市川市公共施設に関する市民ワークショップ

いっしょに考えよう！ 市川市の公共施設

◆開催日時 平成27年10月31日（土）午後2時30分～4時30分

◆参加者 19名

◆ファシリテーター 芝浦工業大学 工学部建築学科 志村 秀明 教授

◆第1回テーマ 「公共施設について再確認しよう！」

ワークショップ初回は、参加者に公共施設への「想い」や「関わり方」などをイラストと言葉で表現してもらい、意見交換をしました。

子どもの頃通った図書館、日頃使用している公民館やグラウンド、毎日歩く道路や橋など、参加者からは公共施設に対して様々な「思い出」や「意見」「期待」が寄せられました。

中には、公共施設の「建物」や「備品」だけでなく、その施設がおかれる「環境」、施設がつくる「景観」、場としての「機能」や地域のあり方、人の関わりにまで触れる意見が出て、議論はとても広がりのあるものになりました。

次回は、対象施設を「学校施設」「集会施設」「図書館その他施設」に分けて、より具体的に議論を深めていくこととなりました。

最後に、ファシリテーターを務める芝浦工業大学の志村秀明教授が、「このままでいくと施設の3割は維持できなくなるという厳しい現実を受け止めたうえで、しかしながら悲観することなくこの課題をいかに工夫とアイデアで打開するかという前向きな考えで検討し、意見を出していただきたい」とよびかけ、参加者は真剣な表情で資料を読み込んでいました。



第1回 グループ発表概要

Aグループ

1. 昭和30年頃の図書館を描いたが、図書館で知識を養った。
施設は、場所を提供するだけではなく、人を育てることができる場所である。
プラネタリウムがあるが遠く、子どもたちが通わない。
2. バラの講習会で何度か行った公園を描いた。市川市を花いっぱいの市にしたい。
オリンピックもあるので、観光できる市になってほしい。
3. 人が減ったことで1人の負担が多くなり続けられなくなったが、公民館があったおかげでこれまで「料理教室」を開催することができた。公共の施設で教室を開催することは大変だと感じた。
4. 公共などの会館等で、老人がよくする将棋などがあればもっと利用するのではないかな。
市川市内でパスポートの申請や発行が出来るようにするという取組みも実現してほしい。

～志村先生コメント～

- ・ 図書館は皆さんが利用する場所である。
- ・ 市川市には「南北の移動が困難」という課題がある。
- ・ 公民館などの集会施設は地域の人々が集まる場として大切。
- ・ 公園などを綺麗に維持していくためには、市民の参加や協力が必要。



B グループ

1. 川沿いを散歩していると、塗装がはがれている橋をよく見る。
2. 自治会館の草刈りを誰が行なうかが議論となっている。
自分たちの施設であれば自分たちが草刈りをするというのが私の意見である。
3. 小学校前に歩道があるが、子どもがつまずかないような歩道にしてほしい。
歩行補助カートを使うお年寄りも容易に移動できるような歩道を整備してほしい。
4. コンサートが好きで千葉の文化会館をよく利用するが、バリアフリー化や周辺の管理もしてほしいと感じている。それと比較して市川市の文化施設は整備されている方だと思う。

～志村先生コメント～

- ・施設だけでなく市民に身近な生活環境全体を整えることが必要。
- ・施設の草刈り等については市民が行なうなど、行政との役割分担が重要になってくる。
- ・歩道の段差解消など、施設周辺環境のバリアフリー化も大切。

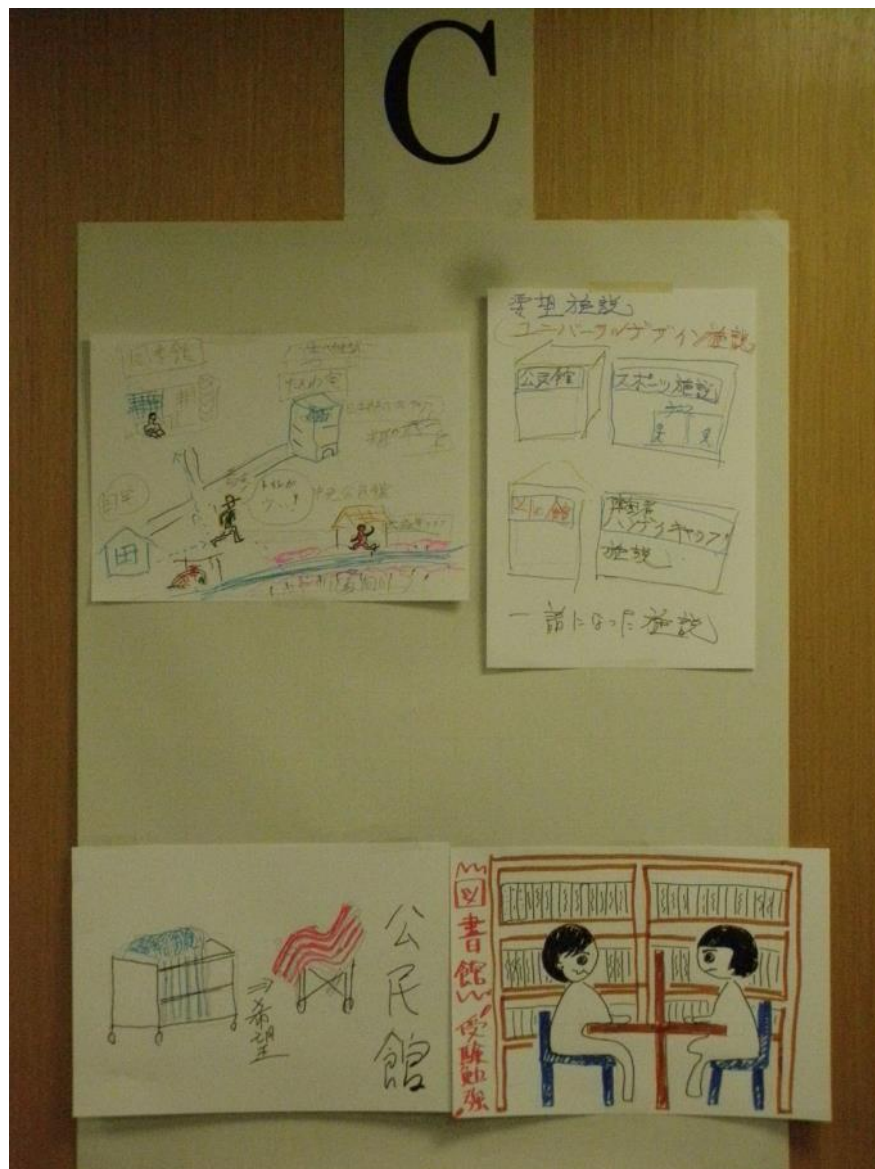


C グループ

1. 学生時代に新旧2つの中央図書館を利用して勉強した。思い出の場所となっている。
2. 公民館などでオーケストラの練習をしているが、パイプ椅子や傘立てがとても古い。
箱より備品や設備が重要である。
3. 老人のライフスタイルを考えると、図書館やボランティア活動の場、スポーツ施設が必要である。
公衆トイレの設置など散歩しやすい街にしてほしい。
世代やライフスタイルに沿った公共施設を考えてほしい。
4. 施設のユニバーサルデザイン化を進めてほしい。

～志村先生コメント～

- ・ 図書館は学生をはじめ、様々な世代に利用される施設。
- ・ 公民館などの備品の老朽化は今後の課題。厳しい財政状況を考えると工夫やアイデアが必要。
- ・ 公共施設だけでなくその周辺的环境も大切。
- ・ ユニバーサルデザインや複合化された施設には様々な市民が集う。その結果交流が生まれ楽しく過ごすことができる場となる。



D グループ

1. 小さい頃入院を繰り返していたため、公共施設というとまず病院が思い浮かんだ。
2. ゆっくり過ごせる場所として図書館を描いた。
定年退職後、色々勉強したいという意欲がでてきた。
3. 本が好きなので、市の図書館をもっと充実してほしい。
4. 外国より帰国してから市川市の中央図書館を見て、本が沢山あることに感動した。
子供の吹奏楽の発表などができるホールがあり素晴らしいと感じている。

～志村先生コメント～

- ・ 図書館の絵が3枚描かれた。図書館は地域にとって身近で大切な存在であると感じた。
- ・ 病院は本来の機能のほか、地域の交流や緊急時の活動拠点としても大切な役割を果たしている。



E グループ

1. 普段利用している図書館を描いた。リラックスできる施設であってほしい。
2. 1人暮らしの高齢者が多いので集まってお茶でも飲める空間があればいい。
私の散歩コースには日陰がなく、夏の炎天下では高齢者にとって大変である。
人前に立つことは脳を活性化させるので、高齢者がステージに立つ機会や場所を作ってほしい。
3. 活動団体に男性の参加者が少ない。若いうちから少年野球などで地域と関わりを持てば、災害時に炊き出しなどを協力してできるようになる。人と人のつながりができる環境作りを望む。

～志村先生コメント～

- ・ 1人で使うことから大人数で使うことまで、幅広いシーンが描かれている。
- ・ 散歩道など、生活環境を整えることは大切。
- ・ 男性の地域参加は今後重要性を増すと考えられるので、公共施設を上手く活用できると良い。



<全体を通して>

- ・今回、参加者の皆さんにはイラストで公共施設への思いを表現し、発表するという経験をしていただいた。
- ・これまで全国でワークショップを行っているが、市川市でも素晴らしい作品を見ることが出来た。
- ・市民参加活動を研究・推進している者として、市民の力・レベルが高まっていることをとても心強く感じた。

<イラスト・発表・意見をふりかえって>

- ・公共施設そのものだけでなく、施設の周辺環境や椅子などの備品、さらには散歩コースなど生活環境全体も含めた整備が重要という意見があった。
- ・地域参加を促したり様々な人が交流を深めるような仕組みが必要という意見があった。
- ・ユニバーサルデザインやバリアフリーなど世代に配慮した施設整備を求める意見があった。
- ・市川市には行きにくい施設があるという課題が出された。
- ・市からは将来の人口や財政の見通しとともに、公共施設の老朽化などの課題について説明があった。
- ・今後、市の公共施設を考えていくにあたっては、市民の参加や協力、市民と行政の役割分担、市民視点での工夫やアイデアなどが重要といえる。

<次回に向けて>

- ・このままでいくと施設の3割は維持できなくなるという厳しい現状を受け止めた上で、しながら悲観することなく、日本全体が抱えているこの課題を「いかに工夫とアイデアで打開するか」という前向きな考えで検討し、意見を出していただきたい。
- ・次回は、皆さんの発表でも多かった ①小・中学校、②集会施設、③図書館の3用途について取り上げる。
- ・参加者の皆さんには、本配布された資料を2週間の間によくご覧いただき、次回のワークショップも中身の詰まったものにしていただきたいと考えている。

